

給水装置工事

申込業者用マニュアル

2022年1月一部改訂

掛川市水道課

目次

1.給水装置工事の申込み	-----	1
1.1 給水装置工事申込書	-----	1
1.2 使用材料一覧表	-----	7
1.3 土地(私道)・家屋・給水装置・本管使用承諾書	-----	7
1.4 受水槽及び加圧装置設置条件承諾書	-----	8
1.5 三階直結給水条件承諾書	-----	8
1.6 集中検針装置設置条件承諾書	-----	9
1.7 上水道利用加入金免除申請書	-----	9
1.8 代理人・管理人選定(変更)届	-----	10
1.9 簡易専用水道台帳	-----	10
1.10 給水装置管理者変更届	-----	11
1.11 集中検針装置所有者変更届	-----	12
1.12 集合住宅完成届	-----	12
1.13 給水装置所有者変更届	-----	13
2.各種協議書	-----	13
2.1 三階直結給水協議書	-----	13
2.2 給水工事協議書	-----	15
3.道路・河川占用工事許可申請書	-----	15
3.1 国道占用許可申請書	-----	15
3.2 国道工事着手届	-----	16
3.3 国道工事完了届	-----	17
3.4 県道占用許可申請書	-----	17

3.5 県道工事着手届	-----	18
3.6 道路の通行の禁止又は制限依頼書と位置図	-----	19
3.7 県道占用工事完了届	-----	20
3.8 市道占用許可申請書	-----	20
3.9 市道工事完了届	-----	22
3.10 河川占用許可申請書	-----	22
3.11 河川工事完了届	-----	23
4.給水管分岐工事	-----	24
4.1 給水管分岐工事施工届	-----	24
4.2 分水工事連絡表	-----	24
5.竣工検査	-----	25
5.1 申込方法	-----	25
5.2 実施条件	-----	27
5.3 確認事項	-----	27
5.4 検査不適合後の処置	-----	28
表-2	-----	29
図-3	-----	30
別紙（書類検査における提出写真例）	-----	

1. 給水装置工事の申込み

1.1 給水装置工事申込書

1.1.1 申込みにあたっての注意点

- 1) 給水装置工事申込書の申込み受付時間は平日(月～金)午前中(～12:00)まで
- 2) 既設引き込みがあり長期間使っていない場合、分岐部の閉塞により水が出ないことがあります。ただし、止水栓の故障の場合もあるため、止水栓を外して水が出るか確認をお願いします。出ない場合は、早めに再穿孔の依頼をお願いします。
- 3) 管網図はあくまでも参考図になるため、現地の配管と異なる場合がありますので必ず現地でも確認をお願いします。
- 4) 管網調査で宅内の配管を閲覧する場合は委任状が必要となります。
- 5) 配水管口径が小口径の場合、水圧測定が必要になる場合があります。
- 6) 給水装置工事申込書を提出する際のチェック項目を別紙で作成しました。参考にしてください。
※給水装置工事申込書チェックシート (P. 29 表-2)
※給水装置設置工事フローチャート (P. 30 図-3)

1.1.2 用紙

- 1) 用紙は掛川市水道課が指定するものを使用する
ホームページより最新版(あて先掛川市長)をダウンロードして使用すること。現在の最新版はR4.1.1一部改訂である。
- 2) 用紙の選定
 - a) 給水装置工事(新設)申込書: **緑色**
既設量水器がなく、新たに給水装置を設置する場合
 - b) 給水装置工事(改造)申込書: **橙色**
既設量水器がある場合

1.1.3 提出部数

1部

1.1.4 記入事項

- 1) 次の項目を記入し**捺印**する
 - a) 申込年月日
 - b) 申込者の住所(郵便番号の記入漏れに注意)
 - c) 申込者の氏名(「ふりがな」も記入する)
申込者直筆(法人等ゴム印可※ただし、不鮮明なものは不可)
 - d) 申込者の電話
 - e) 工事施工指定給水装置工事事業者の住所
 - f) 工事施工指定給水装置工事事業者の事業者名(社印を捺印する)
 - g) 工事施工指定給水装置工事事業者の代表者
 - h) 担当主任技術者名(担当主任技術者の印を捺印する)
※選任届を提出してある主任技術者であること
 - i) 担当主任技術者の携帯電話
 - j) 給水装置所有者の住所
 - k) 給水装置所有者の氏名(「ふりがな」も記入する)
※給水装置所有者の変更を伴う場合は給水装置所有者変更届(P. 13)をお客様センターへ提出後、写しを添付する。また申込者と給水装置所有者が違う場合は別途、承諾書が必要である
 - l) 給水装置所有者の電話
 - m) 給水装置設置住所・地番

※給水装置設置位置は地番と住居表示(住所)をそれぞれ記入する、同一の場合は「同上」と記入する。

(地番と住居表示が混在していたため、記入欄を住所・地番に分けました。)

以下の地区は、住居表示が存在するため、住所と地番が異なります。

城北一丁目、城北二丁目、城西一丁目、城西二丁目、南一丁目、南二丁目、亀の甲一丁目、亀の甲二丁目、下俣南一丁目、下俣南二丁目、久保一丁目、久保二丁目、杉谷一丁目、杉谷二丁目、葵町、二瀬川、御所原、青葉台(注1)、旭台(注2)

※注1 青葉台(東側)、大成ハウジング造成地については住居表示区域外

※注2 旭台、遠州鉄道分譲地については住居表示区域外

n)給水装置使用者 (「ふりがな」も記入する)

o)アパート名・室番

(ア)アパート名

アパート・マンション等の場合アパート名を記入する

※申込時は仮名でもかまわない

(イ)室番

外水栓・共用栓等の場合は、その旨を記入する

p)工事種別

該当する項目に○をつける

(ア)新設

個人住宅やアパートの各戸等

※検針する量水器を設置する場合(集中検針のリモートメータも含む)

(イ)連合

アパート等の共同住宅など、同一敷地内に複数の量水器を設置する場合
ただし、二世帯住宅等は除く

(例：一つの建物に複数の店舗を経営している場合など)

全体計画(本管分岐から各戸の伸縮止水栓まで)の申込書は連合(1枚)

各戸、外水栓等の申込書は新設または改造(設置メータ個数枚必要)
《付随する提出書類》

◎代理人・管理人選定(変更)届(P.10)

◎集合住宅完成届(P.12)

(ウ)止水栓まで

宅内の止水栓(甲止水栓、青銅仕切弁、ソフトシール仕切弁)まで
施工する場合

(エ)仮設

アパート、事業所等の建設時にだけ給水を利用する場合で次の条件
による

①仮設期間は申込日より1年以内であること

仮設期間が申込日より1年を超える場合は新設として申込み

個人住宅建設中の仮設は認めない

(オ)改造

既設量水器があり次に該当する場合

①給水装置を増設・撤去(全部または一部)する場合

②給水装置の口径・管種・位置を変更する場合

③既設量水器の口径を変更する場合

④分岐口径・分岐箇所を変更する場合

q) 本管分岐 該当する項目に○をつける

(ア) 有

市の配水管、簡易水道本管、個人所有給水本管から分岐する場合

①配水管からの給水分岐は2段落ちが最大分岐口径

※個人所有給水本管から分岐する場合、及び配水管として分岐する場合はその限りではない

(例)・配水管口径φ100から分岐可能な給水管口径はφ50以下

・配水管口径φ50から分岐可能な給水管口径はφ30以下

②分岐材料

・分岐サドル

配水管口径がφ250以下かつ給水分岐口径がφ50以下の場合

・不断水割T字管

配水管口径がφ300以上または給水分岐口径がφ75以上、配水分岐する場合

③流量・水圧

周辺の流量不足・水圧低下がおきないように水道課の指示に従い、必要な措置をとる

《付随する提出書類》

◎土地(私道)・家屋・給水装置・本管使用承諾書(P.7)

◎給水工事協議書(P.15)

◎道路・河川占用許可申請書類(P.15)

◎給水管分岐工事書類(P.24)

(イ) 無

①すでに宅内に本管から給水管分岐されている場合

②個人所有の給水管から宅内で分岐する場合(親族、連合に限る)

r) 給水方法

該当する項目に○をつける

(ア) 直結式

直結して給水を行う場合

(イ) 受水槽式

受水槽及び加圧ポンプを利用して給水を行う場合

①受水槽の有効容量を記入する(おおよそ総容量の80%)

計画1日使用水量の50%程度の有効容量を確保する。

②受水槽と加圧ポンプの材料承認図を添付する

《付随する提出書類》

◎受水槽及び加圧装置設置条件承諾書(P.8)

◎簡易専用水道台帳(P.10) ※有効容量が10m³を越える場合

◎給水装置管理者変更届(P.11)

(ウ) その他

①病院、飲食店、美容室等、減断水・濁水により営業に支障が生じる場合

・原則として受水槽及び加圧ポンプを設置する

・受水槽及び加圧ポンプを設置しない場合は誓約書を提出する

誓約書内容: 計画断水工事への協力や、漏水事故等による

断水・濁水の発生に対して苦情を訴えない

②受水槽の容量計算

【掛川市給水装置工事設計・施工基準: 2・3 計画使用水量の決定】参照

s) 給水種別

該当する項目に○をつけ、()内の項目にも○をつける

※一般用・業務用どちらでも水道料金の計算式は同じ

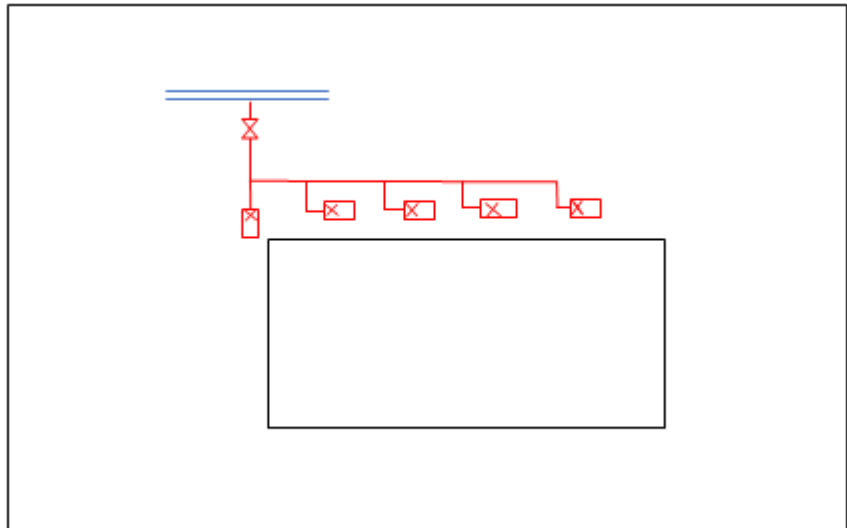
- t) 土地家屋所有区分
 該当する項目に○を付ける
- (ア) 土地
 自己所有・借地どちらかに○を付ける
 ※工事種別が《仮設》であってもどちらかに○を付ける
 《付随する提出書類》
 ◎土地（私道）・家屋・給水装置・本管使用承諾書（P. 7）
- (イ) 家屋
 自己所有・借家どちらかに○を付ける
 ※工事種別が《止水栓まで》であれば無印でよい
 《付随する提出書類》
 ◎土地（私道）・家屋・給水装置・本管使用承諾書（P. 7）
- u) 給水工事施工期間
 給水工事の工期を記入する
 ※審査等事務処理標準期間の1週間から10日後からの工期とする
- v) 量水器
 該当する項目に○を付ける
 ※工事種別が《止水栓まで》であれば無印でよい
- (ア) 市貸与メーター
 通常メータ
- (イ) リモートメーター
 リモートメーターを設置する場合、以下の留意点に注意すること
 ①集中検針盤は1階玄関付近に設置する
 ②集中検針用のメータは申込者側が用意する
 ③集中検針盤の故障・交換は所有者が負担する
 ④リモートメータの故障・交換は市が負担する
 《付随する提出書類》
 ◎集中検針装置設置条件承諾書（P. 9）
 ◎集中検針装置所有者変更届（P. 12）
- (ウ) 量水器の口径
 口径はφ13・φ20・φ25・φ30・φ40・φ50・φ75・
- (エ) 量水器庫出予定日
 口径がφ30以上または庫出し個数が多いときは、必ず記入する
 ※場合によっては、申込時から量水器の庫出しまでの期間が2ヶ月程度かかるときがある
- (オ) 加入金納付書の連絡・郵送の有無
 納付書の連絡・郵送に○を付ける（郵送先は工事事業者）
 ※連絡先を必ず記入する。
 ※郵送の場合は、切手を貼った送付用の封筒を添付すること
- w) 旧量水器（改造の場合）
 (ア) 既設量水器の口径を記入する
 (イ) 既設量水器番号を記入する
 ※既設量水器の指針は記入しなくてよい
- x) 新量水器（改造の場合）
 既設量水器の口径を変更する場合は次の項目を記入する
 (ア) 口径
 (イ) 該当する項目に○を付ける
- y) 給水装置平面図・立面図
 ※立面図は2階建てまでの一戸建て住宅・水栓柱のみ・止水までは省略可能とする。

(7) 記入方法

- ① 【掛川市給水装置工事設計・施工基準：2・6 図面作成の基準】 参照
 - ② 申込書に記入しきれない場合は別紙（A4 もしくは A3）でもよい
- ※連合申請における、各メータ申請分の平面図・立面図は、メータボックス・伸縮止水栓までが連合分となるため、青で図示すること。
(図-1・2 参照)

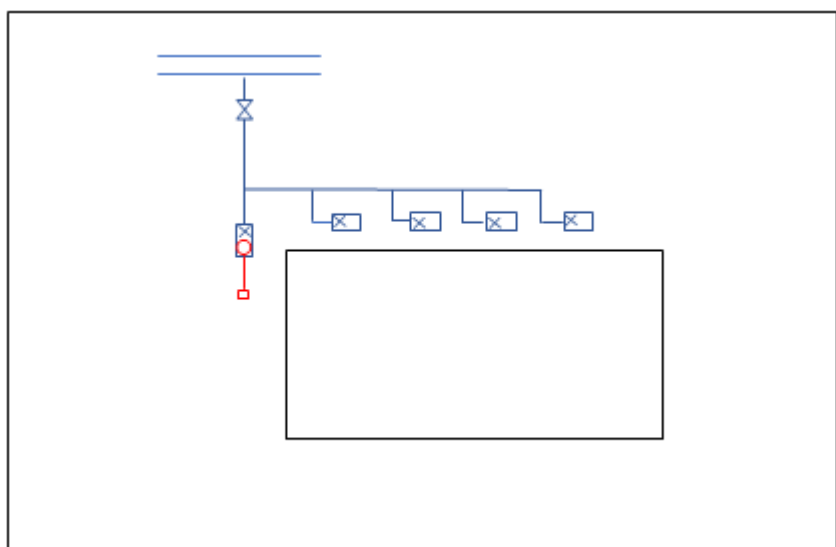
連合申請における図面表記について

・連合申請の図面（図-1）



新設で連合申請を行う際、連合分の図面で各戸のメーターボックス・伸縮止水栓までを赤色とする。
弁栓類の口径・表記を記入すること

・連合申請以降の図面（図-2）



連合申請で各戸のメーターボックス・伸縮止水栓までが連合分が出ているため、メーターボックス・伸縮止水栓までを青色、メーター以降を赤色で図示。

(イ) 量水器の位置

① 常時検針できる場所に設置する

※ 物置や駐車場の車の下に設置しない

② 原則、量水器までの距離が官民境界から2m以内かつ第1止水栓からの管延長1m以内

→ 基準内への施工が著しく困難な場合、水道課に事前に協議すること

(ウ) 分岐する本管、給水管引込箇所

① 【掛川市給水装置工事設計・施工基準：3 給水装置工事の施工】参照

② 引込箇所は接道要件をみたく場所

(エ) 第1止水栓（仕切弁）の位置

原則、本管から最短距離でまっすぐに引き込み、官民境界から1m以内とする。

z) 付近略図

(ア) 記入方法

① 【掛川市給水装置工事設計・施工基準：2・6 図面作成の基準】参照

② 住宅地図を参考にして協議箇所、道路及び主要な建物を記入する

※ 住宅地図を貼付けてもよい

③ 本管から第1止水栓（仕切弁）までの引き込み略図を記入する。

1.1.4 設計審査手数料 1) 設計審査手数料は一律2,000円（税込）

1.1.5 水道利用加入金 1) 水道利用加入金は表-1のとおり

表-1 加入金一覧表

メーターの口径	加入金の額(税込)
13mm	22,000円
20mm	33,000円
25mm	66,000円
30mm	132,000円
40mm	220,000円
50mm	330,000円
75mm	550,000円
100mm	880,000円
150mm	1,100,000円

1.2 使用材料一覧表

1.2.1 提出条件 給水装置工事申込書を提出する場合

1.2.2 用紙 【様式第1号】

1.2.3 提出部数 1部

1.2.4 記入事項 1) 次の項目を記入する (押印不要)

- a) 給水装置設置場所
- b) 給水装置使用者名
- c) 工事施工指定給水装置工事事業者
- d) 工事担当主任技術者(氏名)
- e) 免状交付番号
- f) 品名、形状寸法、数量、認証番号
使用する材料は全て記入する
(ア) 第一止水栓までの材料と量水器関係の材料
掛川市が指定するものを使用する
※【掛川市給水装置工事設計・施工基準：別表1・2】参照
(イ) その他の材料
【材料認証登録リスト「発行：(社)日本水道協会品質認証センター」】参照
- g) 品名・規格、メーカー名、型式番号
給湯器、受水槽、ポンプ、リモートメータを設置する場合は記入する
※第三者認証、自己認証品を使用する場合は承認図、認証証明等を添付すること

1.3 土地(私道)・家屋・給水装置・本管使用承諾書

1.3.1 提出条件 1) 他人(血縁関係でも)の土地を借りて家屋(建築物)を建てる場合
2) 他人(血縁関係でも)の土地を通して給水管が引込まれている場合
※新規引込みは不可
3) 家屋(建築物)を賃貸し給水装置を施工する場合
4) 他人(血縁関係でも)の所有する給水装置等から給水管を引込む場合
(例)母屋(親所有)の給水装置から引込みし、別宅(子所有)に給水するなど
5) 簡易水道本管から給水管を引き込む場合

1.3.2 用紙 【様式第2号】

1.3.3 提出部数 1部

1.3.4 記入事項 1) 次の該当する項目を記入し押印する

- a) 申込者の住所
- b) 申込者の氏名
- c) 該当する住所
- d) 日付
- e) 土地(私道)所有者の住所
- f) 土地(私道)所有者の氏名
- g) 家屋所有者の住所
- h) 家屋所有者の氏名

※所有者が複数いる場合、**全ての方の署名捺印**をすること

i) 給水装置所有者の住所

j) 給水装置所有者の氏名

k) 本管所有者の住所

(ア) 本管所有者の氏名

(イ) 本管所有者が特殊な場合

本管所有者は次のとおりとする

①簡水地区、吉岡・高田（瀬戸山付近）

組合代表者

②地元布設管（共有管）

布設管所有者全員

（※所有者が多数の場合は協議により代表者とすることができる）

③連合管

所有者

1.4 受水槽及び加圧装置 設置条件承諾書

1.4.1 提出条件

受水槽及び加圧装置を設置する場合

※管理者変更の際は給水装置管理者変更届(P.11)

1.4.2 用紙

【様式第5号】

1.4.3 提出部数

1部

1.4.4 記入事項

1) 次の項目を記入し押印する

a) 給水装置設置箇所

b) 給水装置箇所住所名称

c) 日付

d) 給水装置所有者の住所

e) 給水装置所有者の氏名

f) 給水装置所有者の電話

g) 給水装置管理者の住所

h) 給水装置管理者の氏名

i) 給水装置管理者の電話

1.5 三階直結給水条件承諾書

1.5.1 提出条件

三階直結給水をする場合

事前に協議を行い三階直結給水協議書（新規・変更）を提出し、協議審査後発行される許可書の(A4)写しは給水装置工事申込書に添付する

※2.1 三階直結給水協議書参照(P.13)

1.5.2 用紙

【様式第8号】

1.5.3 提出部数

1部

1.5.4 記入事項	<p>1) 次の項目を記入し押印する。</p> <p>a) 三階直結給水箇所</p> <p>b) 三階直結給水箇所住宅等名称</p> <p>c) 日付</p> <p>d) 所有者の住所</p> <p>e) 所有者の氏名</p> <p>f) 所有者の電話</p>
1.6 集中検針装置設置 条件承諾書	
1.6.1 提出条件	<p>集中検針装置を設置する場合</p> <p>※所有者変更の際は給水装置管理者変更届(P.11)</p>
1.6.2 用紙	【様式第7号】
1.6.3 提出部数	1部
1.6.4 記入事項	<p>1) 次の項目を記入し押印する</p> <p>a) 装置設置箇所</p> <p>b) 装置設置箇所住宅名称</p> <p>c) 日付</p> <p>d) 装置所有者の住所</p> <p>e) 装置所有者の氏名</p> <p>f) 装置所有者の電話</p>
1.7 上水道利用加入金免除 申請書	
1.7.1 免除条件	<p>1) 公共事業等において移転する場合</p> <p>2) 個人の都合で移転する場合</p> <p>※原則として、既設量水器返却後、新設量水器を貸与する。</p> <p>※移転に伴い既設閉栓が必要な場合があります。</p> <p>3) 次にあげる場合は免除とならない</p> <p>a) 公会堂、公園等の公共施設の新設や移転</p>
1.7.2. 用紙	【様式第4号】
1.7.3 提出部数	1部
1.7.4 記入事項	<p>1) 次の項目を記入する（押印不要）</p> <p>a) 日付</p> <p>b) 申請者の住所</p> <p>c) 申請者の氏名</p> <p>d) 免除の理由</p> <p>e) 施工箇所</p> <p>f) 現在使用の量水器</p> <p>g) 事業担当者確認欄</p> <p>※公共事業担当者に記入、押印してもらう</p>

1.8 代理人・管理人選定(変更)届

- 1.8.1 提出条件
アパート、マンション、店舗等で申込者住所が**市外**の場合(掛川市水道事業給水条例第13条、第14条参照)。店舗兼住宅の場合は不要。
- 1.8.2 選定条件
管理人の選定は原則**市内在住者**であること
管理人住所が市外の場合は、**市内在住者の代理人**を選定すること
※市内在住者で選定できない場合、給水装置工事事業者とすることができる
【様式第6号】
- 1.8.3 用紙
- 1.8.4 提出部数
1部
- 1.8.5 記入事項
1) 次の項目を記入すること (**押印不要**)
a) 日付
b) 届出者の住所
c) 届出者の氏名
d) 届出者の電話
e) 設置箇所住所
f) 代理人住所
g) 代理人氏名
h) 代理人連絡先
i) 管理人住所
j) 管理人氏名
k) 管理人連絡先

1.9 簡易専用水道台帳

- 1.9.1 提出条件
有効容量が10.0tをこえる受水槽を設置する場合
- 1.9.2 用紙
用紙は市長が指定したものを使用する
- 1.9.3 提出部数
1部
- 1.9.4 記入事項
1) 該当する項目を記入する
※〈記入上の注意〉をよく読み記入する
a) **建物の名称**
b) **所在地(番地)**
c) **案内図**
d) **簡易専用水道の概要図**
e) **設置施設**
(ア) 名称
(イ) 所在地(番地)
(ウ) 建設年月
(エ) 用途(該当する項目に○を付ける)
(オ) 規模
(カ) 特記事項
f) **設置者**
(ア) 氏名
(イ) 住所
(ウ) 連絡(TEL)

- g) **維持管理担当者** (委託を含む)
 - (ア) 氏名
 - (イ) 職名 (設置者との関係)
 - (ウ) 連絡 (TEL)
- h) **受水槽**
 - (ア) 設置年月
 - (イ) 水道名
 - (ウ) 消防用貯水池との兼用の有無 (該当する項目に○を付ける)
 - (エ) し尿浄化槽との距離
 - (オ) 改良等
 - (カ) 設置場所 (該当する項目に○を付ける)
 - (キ) 規模
 - (ク) 材料 (該当する項目に○を付ける)
 - (ケ) 特記事項
- i) **高層水槽**
 - (ア) 設置年月
 - (イ) 改良等
 - (ウ) 設置場所 (該当する項目に○を付ける)
 - (エ) 規模
 - (オ) 材料 (該当する項目に○を付ける)
 - (カ) 特記事項
- j) **その他** (該当する項目に○を付ける)
 - (ア) 「建設物における衛生的環境の確保に関する法律」による「特定建築物」で
 - (イ) 塩素滅菌施設の有無
 - (ウ) 水道水以外の予備水源等
 - (エ) 防蝕剤使用の有無及び薬剤名
- k) **備考欄**

1. 10 給水装置管理者変更届

- 1. 10. 1 提出条件 受水槽、加圧装置等の施設管理者を変更した場合
- 1. 10. 2 用紙 **【様式第 1 0 号】**
- 1. 10. 3 提出部数 1 部
- 1. 10. 4 記入事項 1) 次の項目を記入する (押印不要)
 - a) 日付
 - b) 届出者の住所
 - c) 届出者の氏名
 - d) 届出者の電話
 - e) 設置箇所住所
 - f) 住宅名称
 - g) 前管理者名
 - h) 変更管理者名
 - i) 管理者住所
 - j) 管理者連絡先

1.11 集中検針装置所有者変更届	集中検針装置の所有者を変更した場合
1.11.1 提出条件	【様式第11号】
1.11.2 用紙	1部
1.11.3 提出部数	1) 次の項目を記入し押印する
1.11.4 記入事項	<ul style="list-style-type: none"> a) 日付 b) 届出者の住所 c) 届出者の氏名 d) 届出者の電話 e) 設置箇所住所 f) 住宅名称 g) 前所有者名 h) 変更所有者名 i) 所有者住所 j) 所有者連絡先
1.12 集合住宅完成届	
1.12.1 提出条件	アパート、マンション等の集合住宅が完成した場合
1.12.2 用紙	【様式第14号】
1.12.3 提出部数	1部
1.12.4 記入事項	<ul style="list-style-type: none"> 1) 次の項目を記入する（押印不要） <ul style="list-style-type: none"> a) 日付 b) 工事事業者の住所 c) 事事業者の事業者名 d) 工事事業者の代表者 e) 工事事業者の電話 f) 施工箇所 g) 申込者氏名 h) 住宅名称 i) 量水器種類 <ul style="list-style-type: none"> 該当する項目に○を付けること j) 部屋番号、量水器番号 k) 住宅平面図 <ul style="list-style-type: none"> 部屋の並びがわかるよう図示する l) 住宅断面図 <ul style="list-style-type: none"> 部屋の並びがわかるよう図示する

1. 13 給水装置所有者変更届

1. 13. 1 提出条件 給水装置の所有者を変更した場合
※**原本をお客様センターへ提出後**、水道工務係にコピーを提出すること

1. 13. 2 用紙 【様式第20号】

1. 13. 3 提出部数 1部

1. 13. 4 記入事項 1) 次の項目を記入し押印する
a) 日付
b) 届出者の住所
c) 届出者の氏名
d) 届出者の電話
e) 給水装置設置の場所
f) 水道コードもしくは量水器番号
g) 新所有者の住所
h) 新所有者の氏名
i) 署名又は記名押印すること
j) 新所有者の電話番号
k) 旧所有者の住所
l) 旧所有者の氏名
m) 署名又は記名押印すること
n) 旧所有者の電話
o) 変更年月日を記入し、変更理由に丸をつける

2. 各種協議書

2. 1 三階直結給水協議書

【三階建て建築物の三階への直結給水指導指針】参照

2. 1. 1 実施条件 1) 実施条件は次のとおり
a) 分岐する箇所の配水管最小動水圧が **0.25Mpa 以上**の地域
b) 設置する量水器口径は **φ20mm 以上**
※配管形態により最低口径が変わるので注意する
c) 給水装置には**逆流防止装置**を設置する
d) 三階直結給水協議書を提出する

2. 1. 2 用紙 【様式第9号】

2. 1. 3 提出部数 1部

2. 1. 4 記入事項 1) 次の項目を記入する (押印不要)
a) 提出日
b) 申込者の住所
c) 申込者の氏名
d) 協議箇所
e) 建物概要
(ア) 該当する住宅区分に○をつける
(イ) 共同住宅の場合は戸数を記入する
※共用栓・外水栓も戸数に加える
f) 給水装置工事申込予定日
提出日より **14日以上先の日付**を記入する

協議内容によっては、申込予定日に間に合わない可能性もあります。

g) 工事施工指定給水工事事業者

2.1.5 添付書類

1) 記入方法

【掛川市給水装置工事設計・施工基準：2・6 図面作成の基準】参照

2) 添付書類は次のとおり

a) 位置図

住宅地図を参考にして協議箇所、道路及び主要な建物を記入する
※住宅地図を貼付けてもよい

b) 給水平面図

次の内容が確認できるものを記入する

① 【2.1.1 実施条件 b)、c)、d)】

② 給水栓等給水用具の取付位置

③ 止水栓及び量水器の位置

④ 布設する給水管の管種、口径、延長及び位置

⑤ 公私有地、隣接敷地の境界線

⑥ その他、工事施工上必要とする事項（障害物の表示等）

c) 給水立面図

平面図で表現できない配管状況を表示する

d) 給水系統図

次の内容が確認できるものを記入する

① 【5.1. 実施条件 c)】

※本管が埋設してある道路の地盤高と、給水栓の最高位置高さを記入

e) 水圧測定位置図

(ア) 市の配管網図の写しを使用する

(イ) 測定位置は水道課の指示を受ける

(ウ) 測定場所を赤色で図示する

f) 水圧測定結果

(ア) 水圧測定は 24 時間測定する

(イ) 水圧チャートの原稿を添付する

※水道課で測定した場合は、測定結果の写しとする

(ウ) 水圧チャートに最小動水圧を赤色で記入する

g) 水理計算書

(ア) 損失水頭はウエストン(Weston)公式で算出する

$$h = (0.0126 + \frac{0.01739 - 0.1087d}{\sqrt{v}}) \times \frac{L}{d} \times \frac{V^2}{2g}$$

$$Q = \frac{\pi d^2}{4} \times V$$

ここに、

h：管の摩擦損失水頭 (m)

V：管内の平均流速 (m/sec)

L：官長 (m)

d：重力加速度 (9.8m/sec²)

Q：流量 (m³/sec)

※【水道施設設計指針「日本水道協会発行」】参照

(イ) 損失水頭に 0.05MPa 加算する

(ウ) 算出根拠を明示する

2.2 給水工事協議書	<p>協議に10日程度の日数を要します。 ※協議内容によってはもう少し時間がかかる場合があります。 給水管を公道の縦断方向に設置する場合</p>
2.2.1 実施条件	【様式第15号】
2.2.2 用紙	1部
2.2.3 提出部数	1) 次の項目を記入する (押印不要)
2.2.4 記入事項	<ul style="list-style-type: none"> a) 提出日 b) 工事事業者の住所 c) 工事事業者の事業者名 d) 工事事業者の電話 e) 給水工事箇所 f) 給水の用途 (例：共同住宅建設のため) g) 給水戸数 h) 引込給水管の口径 i) 縦断給水管の口径 j) 給水計画の概要 布設する管の管種、口径、延長を記入する 設置する仕切弁等の口径、個数を記入する k) 申込者住所氏名
2.2.5 添付書類	<ul style="list-style-type: none"> 1) 位置図 住宅地図を参考にして協議箇所、道路及び主要な建物を記入する ※住宅地図を貼付けてもよい 2) 平面図・給水計画図 <ul style="list-style-type: none"> a) 次の内容が確認できるものを記入する <ul style="list-style-type: none"> (ア) 給水計画の概要 (イ) 分岐する配水管の管種と口径 (ウ) 分岐位置と布設経路 (エ) 継手材料等の使用材料(別途配管図を添付しても可) (オ) 公私有地、隣接敷地の境界線 (カ) 道路の幅員 (キ) その他、工事施工上必要とする事項(障害物の表示等)
3. 道路・河川占用許可申請書	
3.1 国道占用許可申請書	
3.1.1 事前協議	<p>占用許可申請書の提出前に図面と写真を水道課へ提出する ※国道管理者と水道課が事前協議するため</p>
3.1.2 用紙	国土交通省浜松河川国道事務所が指定した様式を使用する
3.1.3 提出部数	3部(複写)

<p>3.1.4 記入事項</p>	<p>1) 記入要領を良く読み記入する</p> <p>a) 記入要領の②、③、⑤は記入しない</p> <p>b) 記入要領の④は次のとおり記入する 〒：436-0047 住所：静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇</p> <p>c) 記入要領の⑧の路線名 「一般国道1号」と記入する</p> <p>d) 記入要領の⑧の場所 「掛川市八坂487-1～掛川市岡津425-4地先」と記入する</p> <p>e) 記入要領の⑨の規模 内径と()書きで外径も記入する</p> <p>f) 記入要領の⑫は何舗装するのか記入する ※工事期間は余裕をもって長めにとるようにお願いします。</p>
<p>3.1.5 添付書類</p>	<p>1) 最低限必要な添付書類は次のとおり ※占用箇所を赤色で図示する</p> <p>a) 位置図</p> <p>b) 現況平面図</p> <p>c) 計画平面図</p> <p>d) 断面図</p> <p>e) 公図写</p> <p>f) 写真</p> <p>g) 道路標識図</p> <p>h) 交通規制図</p> <p>i) 道路占用理由書</p>
<p>3.2 国道工事着手届</p>	
<p>3.2.1 様式</p>	<p>国土交通省浜松河川国道事務所が指定した様式を使用する</p>
<p>3.2.2 提出部数</p>	<p>2部</p>
<p>3.2.3 記入事項</p>	<p>1) 次の項目を記入する</p> <p>a) 住所、氏名、(担当者)、電話は次のとおり記入する 住所：静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇 (担当者)：道路占用許可書に記載してある担当者名 電話：0537-21-1716</p> <p>b) 道路占用許可書の日付と件番号</p> <p>c) 場所 「一般国道1号掛川市八坂487-1～岡津425-4地先」と記入する</p> <p>d) 工事責任者 工事施工業者名と担当者名を記入する</p>
<p>3.2.4 添付書類</p>	<p>1) 添付書類は次のとおり</p> <p>a) 道路占用許可書の写し</p> <p>b) 位置図</p>

3.3 国道工事完了届

3.3.1 用紙

国土交通省浜松河川国道事務所が指定した様式を使用する

3.3.2 提出部数

2部

3.3.3 記入事項

1) 次の項目を記入する

a) 住所、氏名、（担当者）、電話は次のとおり記入する

住所：静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

氏名：掛川市長〇〇〇〇

（担当者）：道路占用許可書に記載してある担当者名

電話：0537-21-1716

b) 道路占用許可書の日付と件番号

c) 場所

「一般国道1号掛川市八坂487-1～岡津425-4地先」と記入する

d) 完了予定年月日

工事が完了した日付を記入

3.3.4 添付書類

1) 添付書類は次のとおり

a) 位置図

b) 完成写真

道路を掘削し、給水管の埋設状況の写真及び道路を復旧した後の路面状況がわかる写真を完成写真という。

3.4 県道占用許可申請書

3.4.1 事前協議

占用許可申請を水道課へ提出する前に袋井土木事務所掛川支所へ復旧範囲や舗装構成など事前に確認をお願いします。

3.4.2 用紙

【県様式：様式第五（第四条の三関係）（用紙A4）】

3.4.3 提出部数

3部

3.4.4 記入事項

1) 次の項目を記入する

a) 申請者の住所、氏名、電話は次のとおり記入する

住所：掛川市長谷一丁目1番地の1

氏名：掛川市長〇〇〇〇

電話：0537-21-1716

担当者：記入しない

b) 占用の目的

（例）上水道給水管埋設のため

c) 占用の場所

（ア）路線名

（イ）占用する箇所区分

該当する項目に○を付ける

（ウ）場所

最後に「**地先**」と記入する

d) 占用物件

占用物件が複数ある場合は、**複数記入**する

（ア）名称

（例）上水道給水管

(イ)規模

内径と () 書きで外径を記入する

※ポリエチレン二層管については PEP と表記し、統一する。(図面作成の基準給水管の管種記号より)

(ウ)数量

小数点第 1 位止め

e) 占用の期間

占用期間は許可の日から御指定の日まで

f) 工事の期間

工事期間は許可の日から令和〇年〇月〇日まで

※工事期間は余裕をもって長めにとるようにお願いします。

g) 道路の復旧方法

文章で掘削から本復旧までの工程を記入する

※「現況復旧」ではだめ

(例)掘削後残土処理し、砂・再生下層路盤材・M-30 にて埋戻をし、十分転圧後仮舗装する。自然転圧後本舗装する。

h) 占用物件の構造

正式名称を記入し () 書きで J I S または JWWA 規格を記入する

i) 工事实施の方法

「請負」と記入し施工業者名、電話、主任技術者名、携帯電話を記入

j) 備考

(ア) 舗装復旧面積

車道と歩道の舗装復旧面積を計算式から記入する

※少数点第 1 位止め

(イ) 交通区分

交通区分を記入する

3.4.4 添付書類

1) 添付書類は次のとおり

占用箇所を赤色で図示する

a) 位置図

b) 公図写

占用箇所について旗上げをし「占用箇所」と表記

c) 計画平面図

舗装復旧面積は【静岡県道路占用工事に伴う路面復旧基準】参照

d) 計画横断面図

埋設深は道路地盤高より 1200mm 以上とる

構造物との離隔は 300mm 以上とる

e) 舗装断面図

舗装構成は【静岡県道路占用工事に伴う路面復旧基準】参照

f) 交通規制図(平面・断面)

歩行者通路の幅員・車道残幅を図面に表記

g) 占用箇所の写真

最低 3 方向から写真を撮る

本復旧範囲を示す

h) 工程表

3.5 県道工事着手届

3.5.1 用紙

【県様式：様式第 3 号（第 3 条、第 7 条関係）】

添付書類道路占用許可証の写し

3.5.2 提出部数

3 部

<p>3.5.3 記入事項</p>	<p>1) 次の項目を記入する</p> <p>a) 届出者住所、氏名は次のとおり記入する 住所：掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇</p> <p>b) 許可番号、工事の目的、工事の期間、工事の場所 <u>道路占用許可証</u>のとおり記入する</p> <p>c) 工事着手予定日 提出日から 10日以上先の日付を記入する</p> <p>d) 施工業者名 施工業者名と電話番号を記入する</p> <p>e) 施工業者の現場責任者氏名</p> <p>f) その他 その他の事項があれば記入する ※承認又は許可を受けた者の現場監督者氏名は記入しなくてよい</p>
<p>3.6 道路の通行の禁止又は制限依頼書と位置図</p>	
<p>3.6.1 様式</p>	<p>静岡県袋井土木事務所が指定した様式を使用する</p>
<p>3.6.2 提出部数</p>	<p>3部（道路の通行の禁止又は制限依頼書） 1部（添付書類のみ） 5部（位置図）</p>
<p>3.6.3 記入事項</p>	<p>1) 次の項目を記入する</p> <p>a) 申請者の住所、氏名、電話は次のとおり記入する 住所：掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇 電話：0537-21-1716</p> <p>b) 路線名、工事箇所 県道占用許可申請書の占用の場所を記入する</p> <p>c) 工事の期間、通行禁止又は制限期間 (ア) 県道占用許可申請書の工事の期間を記入する (イ) 該当する項目に○を付ける ※工事時間は 8:30~17:00 の間にする</p> <p>d) 工事の内容 (例) 給水管理設のための路面の掘削、埋戻し、舗装復旧</p> <p>e) 通行禁止又は制限内容 該当する項目に○を付ける</p> <p>f) 迂回路 該当する項目に○を付ける</p> <p>g) 施工業者及びその現場責任者</p> <p>h) 添付図書</p> <p>i) その他 該当する項目に○を付ける 路線バスがある場合はバス会社を記入</p>
<p>3.6.4 添付書類</p>	<p>1) 添付書類は次のとおり</p> <p>a) 位置図（5万分の1管内図） 5万分の1管内図が無い場合はそれに変わるものを添付する</p> <p>b) 平面図（規制標識、施設等記入）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> c) 横断図（防護施設、道路幅員等制限状況を記載） 歩行者通路幅員・道路残幅等 d) 工程表 e) 迂回路図（通行止の場合）
3.7 県道占用工事完了届	
3.7.1 用紙	【県様式：様式第4号（第3条、第7条関係）】
3.7.2 提出部数	3部
3.7.3 記入事項	<ul style="list-style-type: none"> 1) 次の項目を記入する <ul style="list-style-type: none"> a) 申請者の住所、氏名、電話は次のとおり記入する 住所：掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇 電話：0537-21-1716 b) 許可番号、工事の目的、工事の期間、工事の場所 道路占用許可証のとおり記入する c) 工事完了年月日 d) 掘削内容 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 舗装の種類 交通区分の舗装タイプを記入する (イ) 掘削数量 <ul style="list-style-type: none"> ① 延長 ② 幅 ③ 面積 e) 添付書類 該当する番号に○を付ける
3.7.4 添付写真	道路を掘削し、給水管の埋設状況の写真及び道路を復旧した後の路面状況がわかる写真を完成写真という。斜めカッターで舗装切断する場合は施工の様子わかる写真を必ず入れること。黒板には必ず日付を入れる。（黒板に日付を入れていなかった場合、完了届の用紙に記入しても良い）
3.8 市道占用許可申請書	
3.8.1 事前協議	水道課へ占用申請を提出する前に維持管理課に復旧範囲等の確認をお願いします。
3.8.2 用紙	【様式第1号（第2条関係）】
3.8.3 提出部数	3部
3.8.4 記入事項	<ul style="list-style-type: none"> ※内1部は添付書類不要 1) 記載要領を良く読み記入する <ul style="list-style-type: none"> a) 次の項目を記入する <ul style="list-style-type: none"> (ア) 申請者の住所、氏名、電話は次のとおり記入する 住所：掛川市長谷一丁目1番地の1 氏名：掛川市長〇〇〇〇 電話：0537-21-1716 (イ) 占用の目的 (例) 上水道給水管管理設のため

- (ウ) 占用の場所
 - ① 路線名
 - ② 占用する箇所の区分
該当する項目に○を付ける
 - ③ 場所
最後に「地先」と記入する
- (エ) 占用物件
 - 占用物件が複数ある場合は、**複数記入**する
 - ① 名称
(例) 上水道給水管
 - ② 規模
内径と () 書きで外径を記入する
 - ③ 数量
小数点第1位止め
- (オ) 占用の期間
 - 占用期間は許可日から **4年後年度の3月31日まで**
- (カ) 工事の期間
 - 工事期間は許可日から〇〇日間または許可日から令和〇年〇月〇日まで **(工事期間は余裕を持って長めに取るようお願いします。)**
- (キ) 道路の復旧方法
 - 文章で掘削から本復旧までの工程を記入する
 - ※「現況復旧」ではだめ**
 - (例) 掘削後残土処理し、砂・再生下層路盤材・M-30 にて埋戻をし、十分転圧後仮舗装する。自然転圧後本舗装する。
- (ク) 占用物件の構造
 - 正式名称を記入する
- (ケ) 工事実施の方法
 - 「請負」と記入し施工業者名及び連絡先を記入する
 - 担当者名及び携帯電話を記入する

3.8.4 添付書類

- 1) 添付書類は次のとおり
 - 占用箇所を赤色で図示する
 - a) 位置図
 - b) 公図写
 - c) 計画平面図
 - 舗装復旧面積は【市道占用復旧工事基準】参照
 - 申請する前に維持管理課へ復旧範囲の確認をお願いします。**
 - d) 計画横断面図
 - 埋設深は道路地盤高より **900mm 以上**とる
 - ※構造物との離隔は 300mm 以上**とる
 - e) 舗装断面図
 - 舗装構成は【市道占用復旧工事基準】参照
 - ※透水性舗装等の場合もあるため、事前に維持管理課に確認する**
 - f) 占用箇所の写真
 - 最低3方向**から写真を撮る
 - ※占用許可後、着手届や道路使用等は維持管理課に直接提出する**

3.9 市道占用工事完了届

3.9.1 用紙

【様式第1号（第3条関係）】

3.9.2 提出部数

2部
※内1部は添付写真不要

3.9.3 記入事項

- 1) 次の項目を記入する
 - a) 住所、氏名、電話は次のとおり記入する
住所：掛川市長谷一丁目1番地の1
氏名：掛川市長〇〇〇〇
電話：0537-21-1716
 - b) 許可番号、路線名、工事場所、工事期間、施工業者名、施工業者の現場責任者氏名
道路占用許可証のとおり記入する
 - c) 工事名
(例) 上水道給水管理設のため
 - d) 完了日

3.9.4 添付写真

道路を掘削し、給水管の埋設状況の写真及び道路を復旧した後の路面状況がわかる写真

3.10 市河川占用許可申請書 (土地占用許可申請書) (工作物新築等許可申請書)

3.10.1 事前協議

河川管理担当課と事前協議する
※県・国管理はそれぞれの管理者の指示に従うこと

3.10.2 用紙

- 1) 準用河川
掛川市河川管理担当課が指定した様式を使用する
- 2) 普通河川
【市様式：様式第2号(第5条関係)】
【市様式：様式第4号(第7条関係)】

3.10.3 提出部数

3部
※内1部は添付書類不要

3.10.4 記入事項

- 1) 次の項目を記入する
 - a) 住所、氏名、電話は次のとおり記入する
住所：掛川市長谷一丁目1番地の1
氏名：掛川市長〇〇〇〇
電話：0537-21-1716
 - b) 河川の名称
※河川名は河川図で確認する
 - c) 占用の目的及び態様
(例) 上水道給水管布設のため
 - d) 占用の場所
※場所は必ず番地の後に「地先」と記入する
 - e) 占用面積

計算式から記入する

※単位は m^2

f) 占用の期間

占用の期間は許可日から **2年後年度の3月31日まで**

g) 工作物の名称又は種類

(例) 上水道給水管

h) 工作物の構造又は能力

(例) 硬質塩化ビニル内外面ライニング鋼管

※口径、外径、延長を記入する

i) 工事の実施方法

「請負」と記入し施工業者名及び連絡先を記入する

担当主任技術者及び携帯電話を記入する

j) 工期

工事期間は許可日より〇〇日間または許可日から令和〇年〇月〇日まで

※工事期間は余裕をもって長めにとるようにお願いします。

3. 10. 5 添付書類

1) 添付書類は次のとおり

占有箇所を赤色で図示する

a) 位置図

b) 公図写

c) 計画平面図

舗装復旧面積は【市道占有復旧工事基準】参照

d) 計画横断面図

埋設深は道路地盤高より **900mm 以上**とる

e) 舗装断面図

舗装構成は【市道占有復旧工事基準】参照

f) 占有箇所の写真

最低3方向から写真を撮る

※着手届は維持管理課へ直接、提出をする

3. 11 市河川占有工事完了届

3. 11. 1 用紙

【様式第1号（第3条関係）】

3. 11. 2 提出部数

2部

※内1部は添付写真不要

3. 11. 3 記入事項

1) 次の項目を記入する

a) 住所、氏名、電話は次のとおり記入する

住所：掛川市長谷一丁目1番地の1

氏名：掛川市長〇〇〇〇

電話：0537-21-1716

b) 許可番号、河川名、工事場所、工事期間、施工業者名、

施工業者の現場責任者氏名

道路占有許可証のとおり記入する

c) 工事名(例) 上水道給水管布設のため

d) 完了日

3. 11. 4 添付写真

工作物、物件又は施設の施工写真、並びに完成写真

4. 給水管分岐工事

4.1 給水管分岐工事施工届 ※施工する1週間前までに提出すること

4.1.1 用紙 【様式第12号】

4.1.2 提出部数 1部

4.1.3 記入事項

- 1) 次の項目を記入する
 - a) 日付
 - b) 指定給水装置工事事業者
 - c) 給水装置工事主任技術者
 - d) 工事箇所
 - e) 工事内容
口径を記入し、該当する項目に○を付ける
 - f) 工事施工日時
 - g) 分岐作業開始予定時間
 - h) 関係協議状況
該当する項目に○を付け、占用申請の許可日・許可番号を記入する
- 2) 提出時に水道課にある分岐計画表に必要事項を記入する

4.1.4 添付書類

- 1) 次の書類を添付する
 - a) 給水装置工事申込書(平面図・位置図)の写し

4.2 分水工事連絡表 ※施工後2週間以内に提出すること

4.2.1 用紙 【様式第13号】

4.2.2 提出部数 1部

4.2.3 記入事項

- 1) 次の該当する項目を記入する (押印不要)
 - a) 施工日
 - b) 工事箇所
 - c) 氏名
 - d) 施工業者
 - e) 使用材料
使用した材料の数量を記入する
 - f) 補足事項
補足事項があれば記入する
 - g) 本管
距離を記入する
(ア) 分岐側官民境界より
(イ) 管種及び口径
(ウ) 深さ
 - h) 支障物
支障物件があれば位置又は埋設深等を記入する
(ア) N T T
(イ) ガス
(ウ) その他

i) 平面図

分水位置の2点以上の目標物からのオフセットを記入する
目標物は恒久的な物とする

j) 分岐位置横断図

舗装版切断から仮舗装までの工事工程写真を添付する

4.2.4 添付写真

給水装置工事申込書の設計審査承認後、書類竣工検査、現場竣工検査、該当する**検査方法を確認すること**。書類竣工検査、現場竣工検査の区別方法については【掛川市給水装置工事設計・施工基準：4検査】参照。

5. 竣工検査

5.1 申込方法

1) 現場竣工検査

a) 工事完了後、速やかに竣工図等を提出する。

差し替える場合は申請時の図面は持ち帰らないこと。

b) 水道課の給水検査受付カレンダーに記入し、検査予約をする。

c) **現場竣工検査については月曜日・木曜日の週2を原則とし、月曜日を東名高速道路以北(掛川地区)、木曜日を東名高速道路以南(大須賀・大東地区)とする。なお、火曜日については、アパートや店舗といった時間のかかる検査や、やむを得ず急を要する給水検査として相談対応とします。**

2) 書類竣工検査

a) 工事完了後、速やかに以下の書類を提出する。

(ア) 変更がある場合は、竣工図・使用材料一覧表

(イ) 給水装置設置工事完成届(自社検査表)

(ウ) 現場写真

別紙書類検査における提出写真例参照

3) 給水装置工事完成届の記載例

a) 申請種別

該当する申請区分に○がついているか

b) 設置場所・使用者

表紙と一致しているか

c) 量水器口径・量水器番号

設置した量水器と一致している

d) 水圧・水質 (該当する項目に○を付ける)

(ア) 水圧試験日・通水日

自社検査の水圧試験後、通水するため、水圧試験日と通水を同日で記載する

(イ) 試験水圧

テストポンプによる水圧試験は 1.75MPa で1分間保持

(掛川市給水装置工事設計・施工基準 4・1・4 耐圧試験 参照)

※止水栓までの場合は、試験水圧の記入を免除す

(ウ) 濁り

(エ) 空気

(オ) 砂

(カ) 臭気

(キ) 味

(ク) 塩素

※必ず、自社検査時に残留塩素を測定すること

- e) 三階直接給水
 有の場合、以下の項目に○もしくは記入をする
 (ア) 専用住宅・併用住宅・共同住宅 () 戸・その他
 (イ) 配水本管の最小変動水圧
 (ウ) 給水管の最高必要水圧
 (エ) 逆流防止装置を設置した
- f) 受水槽
 受水槽を設置する場合、以下のことを確認し記入する
 (ア) 総容量 (m³)
 (イ) 有効容量 (m³)
 (ウ) 管理者名と連絡先
- g) 本管分岐
 無 無に○をする
 有 分岐サドル・不断水割 T 字管・チーズのいずれかに○
 ※占用完了届は提出済みか
 ※他の分岐からの離隔 (0.3m以上) 取れているか
- h) 第一止水栓・仕切弁
 (ア) オフセット (該当する項目に○を付ける)
 官民境界、民民境界のオフセットをそれぞれ記入
 ※現地とオフセットが一致していること
 (イ) 設置位置 (該当する項目に○を付ける)
 基準外に○の場合、別途誓約書を添付 (例外あり)
 (ウ) 設置状況 (該当する項目に○を付ける)
 (エ) 止水栓材料
 止水栓 (コマ式)・止水栓 (ボール式) どちらかに○をする
 (オ) 仕切弁材料 (該当する項目に○を付ける)
 青銅仕切弁・ソフトシール仕切弁
 ※掛川地区の場合は右開き、大東・大須賀地区の場合は左開きであることを確認
 (カ) 止水栓匡・仕切弁
 掛川市指定材料であること
 道路側が開閉の向きであること
 (キ) 開閉確認 適・不適
 (ク) 水量確認 適・不適
- i) 量水器・ボックス
 (ア) オフセット
 官民境界、民民境界のオフセットをそれぞれ記入する
 ※現地とオフセットが一致していること
 (イ) 設置位置
 ※検針に支障のない位置であること
 (ウ) 設置状況 (該当する項目に○を付ける)
 ①流水方向
 流水方向に対して、伸縮止水栓→メーターの設置状況になっ
 るか
 メーター器の流水方向を示す矢印と流水方向が一致するか
 ②水平に設置
 メーターボックスの底板とメーター器が水平に設置されてい
 るか
 ③コマの回転
 水栓柱等を回し、メーターのコマが回るか

④交換に支障がない

止水栓（該当する項目に○を付ける）

材料 伸縮止水栓（蝶ハンドル） OK・NG

ソフトシール仕切弁 右開き・左開き

機能に問題がない 適・不適

ボックス（該当する項目に○を付ける）

FRP製・鋳鉄製

j) その他（該当する項目に○を付ける）

(ア) 給水装置

性能基準適合品であり、構造・材質基準に適合している

(イ) 配管経路

①当該給水装置以外の水管及びその他の設備に直接直結していない

②他の埋設物（埋設管・構造物）より 30 cm 以上の間隔を確保している

(ウ) 水圧

①配水管の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプを直接直結していない

②水圧・水撃作用等で給水管が離脱するおそれのある場所には適切な措置をした。

(エ) 水質

①停滞水・停滞空気が発生しない

②水質汚染の恐れがある場合、適切な処置を施した

③水槽・プール等の器具、施設に給水する場合は水の逆流防止措置を行った

(オ) 書類

①給水装置工事申込書の平面図・立面図と現地が整合している

※手書き修正は不可のため、必ず整合が取れるようにすること

②（集合住宅である場）集合住宅完成届を作成した。

k) 検査日

※給水装置主任技術者立会いのもと、検査を実施した日付を記入

1) 工事施工指定給水装置工事事業者（押印不要）

①住所

②事業所名

③代表者

④電話番号

m) 担当主任技術者（押印不要）

5.2 実施条件

1) 申込者に引き渡す前であること

2) 現場竣工検査の場合、給水装置工事申込書の担当主任技術者が立会う

5.3 確認事項

1) 使用材料

a) 止水栓までの材料と、量水器周辺の材料

掛川市が指定する材料で施工してあるか

b) 上記以外の材料

使用材料一覧表の材料で施工してあるか

2) 竣工図 ※手書き修正は原則不可

現場又は写真と一致するか

3) 止水栓

a) オフセット（最低2点）が正しく測定してあるか

b) 上部の向きは適正か

- 4) 量水器
 - a) 量水器番号は申込書と一致するか
 - b) 設置・流水方向は正確か
 - c) 動作は正常か
- 5) 受水槽および加圧ポンプ
 - a) 材料承認図の材料で施工してあるか
 - b) 所有者と管理者が受水槽に表示してあるか
- 6) 集中検針盤
 - a) 設置位置は適正か
 - b) 画面の表示機能は正確か
- 7) 通水
 - a) 必要な水圧が確保できているか
 - b) 誤接続等していないか
 - c) 水質の確認
- 8) 占用物件
 - a) 道路等の復旧状況は適正か
- 9) その他
 - a) 集合住宅完成届（連合）
 - (ア) 申請図のメータ位置と整合性が取れること
 - b) 仮設の場合
 - (ア) 口径 30mm 以上
竣工検査の代わりに設置状況の確認をする
 - (イ) 口径 25mm 以下
メータの返却を確認し竣工検査とする
 - c) 井戸水・農業用水を引込んでいる場合
上水道管と接続していないか
井戸水・農業用水と接続している箇所の水栓を回し、メータが回転しないか確認
 - d) 市長が指定した事項

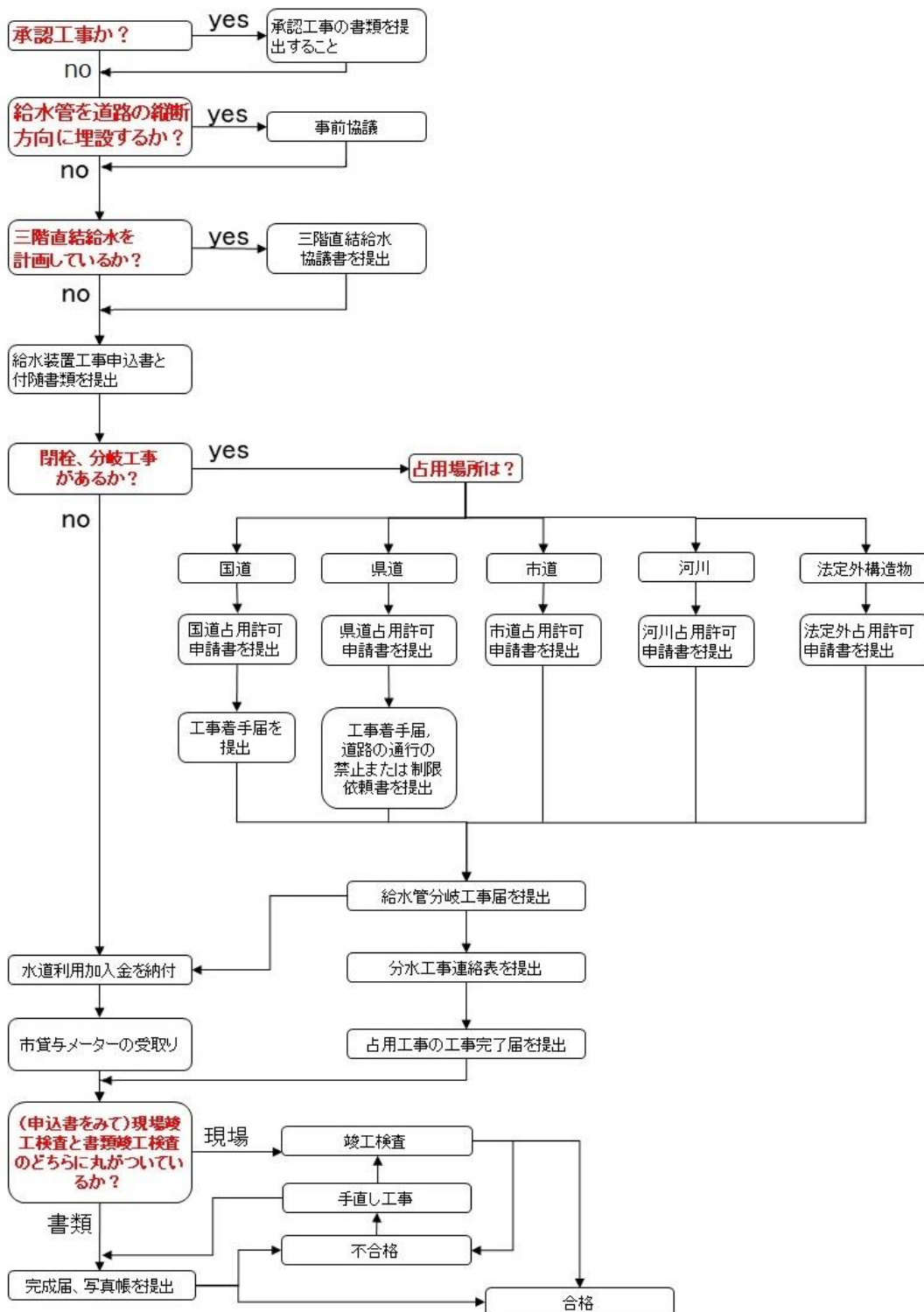
5.4 検査不適合後の処置

- 1) 補修又はやり直し等を指示された場合
市長が指定する期間内に改修し、再検査を受ける

給水装置工事申込書チェックシート

内 容		チェック
申込書	様式は最新のものであるか。(宛先は掛川市長になっているか。)	
	申込者、公道部分移管承諾のところは自筆で記入されているか。(個人のみ)	
	申込者氏名のふりがなは記入されているか。	
	給水工事施工期間は申込日の7日以降となっているか。	
	記入漏れはないか。	
平面図・立面図	既設管は青色、新設管は赤色、給湯は紫色、地下水などは緑色で記入されているか。	
	配水管は二重線、給水管は一本線、不明管は点線で記入されているか。	
	配水管、給水管の管種・口径、弁栓の種類、口径は記入されているか。	
	第一止水栓のオフセットは記入されているか。	
	メーターの位置は、第一止水栓より1m以内に設置され、検針に支障はないか。	
	方位は記入されているか。	
	既設メーターがある場合に、メーター番号は記入されているか。	
	平面図に敷地全体が入っているか。	
	(区画割がある場合)位置図で区画分けがわかるようになっているか。	
	地下水とクロスコネクションされていないか。	
記入漏れはないか。		
使用材料 一覧表	数量は図面と一致しているか。	
	規格番号(認証番号)が記入されているか。	
	(第三者認証、自己認証品を使用する場合、承認図、認証証明等を添付してあるか。)	
	記入漏れはないか。	

給水装置設置工事フローチャート



書類検査における提出写真例(別紙)

申請場所	掛川市 ○○番地	申請者	水道花子	メーター番号	20□□-□□□□	観測者	掛川太郎
------	----------	-----	------	--------	-----------	-----	------



全景

前面道路、周囲の状況、全体の配置、止水栓・量水器の配置がわかるように撮影してください。複数枚にわたる場合は撮影方向等がわかるようにしてください。



オフセット(止水栓)

官民境界:0.55m

2mポール等で、オフセット距離が写真上で判別できるようにしてください

止水栓～量水器が直線上にない場合は、ポールを2本使うなどして、止水栓～量水器の管延長がわかるようにしてください



内部状況(止水栓)

フラッシュを使い、止水栓の様子が見えるようにしてください

書類検査における提出写真例(別紙)

申請場所

掛川市 ○○番地

申請者

水道花子

メーター番号

20□□-□□□□

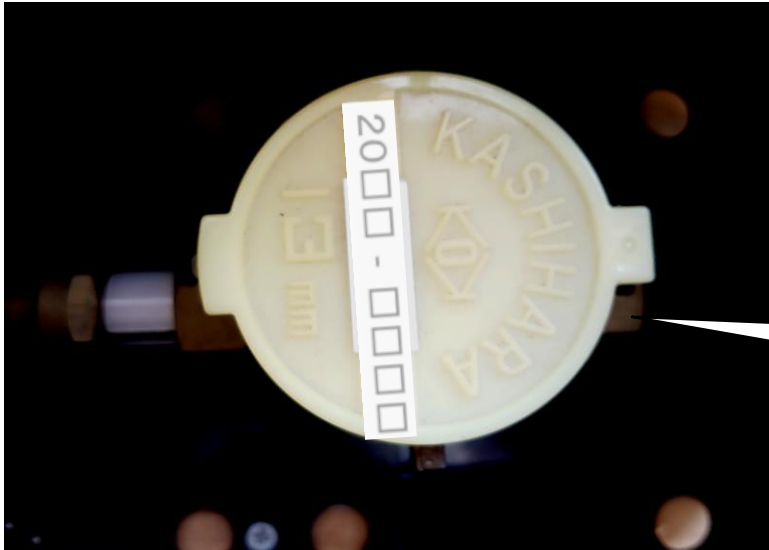
観測者

掛川太郎



設置状況(量水器)

蓋を開き、流向がわかるようにしてください



量水器番号

量水器番号、口径が読めるようにしてください



残留塩素

発色直後に量水器(量水器番号が写るように)の横で撮影し、撮影場所に間違いがないことが確認できるようにしてください。